

環境データブックについて

概要

- 環境に関する基礎データや取組状況とその評価を「尼崎の環境」として公表していますが、年報であるため経年的な視点からの記述や評価が難しいなどの理由から尼崎市の環境の全体像を把握しにくい状況となっています。
- 現行の「尼崎の環境」については、環境に関する基礎データや取組状況を公表することを目的とした「環境データブック」に改め、今後は、環境に関する基礎データの傾向や取組状況などを整理・評価し、尼崎市の環境の全体像に対する市民の理解・関心を深めるための小冊子（10ページ程度）を「尼崎の環境」として、5年ごとに公表することとします。

1 現状

- 環境に関する基礎データや取組状況を「尼崎の環境」として取りまとめ、毎年、公表していますが、環境監視の結果（大気や水質など）や環境に関する実績値（CO₂やごみなど）については、気象や社会情勢の影響を受けており、毎年度の値の細かな増減の要因を説明することが困難である場合があるほか、CO₂排出量については実績を推計するために1年間以上の期間が必要となるため、環境に関する取組と実績の報告時期が一致していない状況となっています。
- 一方で、環境基本計画の運用状況については中期的な視点から5年ごとに総括を行っていますが、年報として公表している現行の「尼崎の環境」は年度単位の短期的な視点からの評価が基本となっており、中期的な視点からの評価を市民と共有する機会がない状況となっています。

2 今後の対応

- 尼崎市における環境の全体像や取組の方向性について、環境基本計画の中間見直し・改定の機会に環境に関する基礎データの傾向や取組状況、国内外の環境に関する動向なども含め整理・評価し、「尼崎の環境」として公表します。なお、毎年の環境に関する取組の細かな進捗管理については、尼崎市総合計画に関する施策評価や事務事業評価の仕組みなどを活用することとします。

